

■生産性向上等の課題に建設ICTをツールに挑戦する企業の取組みを知り、一歩踏み出す大切さを学びました。



建設企業と共に試行を重ねながら推進している「i-Construction」はこれからどう進んでいくのか。本研修では、行政及びICT機器関連企業からの建設ICTの最新情報と、砂防工事において建設ICTをツールとして活用し、挑戦する企業の取組みについて学びました。

- 1 日時 令和元年7月25日（木）
- 2 場所 岐阜産業会館 5階 第一会議室
（岐阜市六条南2丁目11-1）
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の経営者、部長、課長、係長等
- 4 参加者 41社 75名
- 5 内容

時 間	研 修 内 容	講 師
12:30～	受付開始	
13:00	中部地方整備局におけるi-Constructionの取組み	国土交通省 中部地方整備局 企画部 総括技術検査官 （i-Construction中部サポートセンター長）
～14:00		筒井 保博氏
	（途中休憩）	
14:10	岐阜県における建設ICTの取組みについて	岐阜県 県土整備部 技術検査課 技術課長補佐兼係長 小原 光博氏
～14:40		
	（途中休憩）	
14:45	はじめての建設ICT～現場はどう変えられるのか～	株式会社 亀太 代表取締役社長 橋本 尚史氏
～15:50		
	（途中休憩）	
16:00	砂防工事における建設ICTの活用事例	株式会社 中島工務店 第二土木部 課長 河原 克也氏
～16:30		
16:30	アンケート記入、閉講	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（（公財）岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 4ユニット（認定講習）

8 研修状況



講師
中部地方整備局 企画部
i-Construction中部サポートセンター長 筒井 保博氏



“中部地方整備局におけるi-Constructionの取組み”
国が進めるi-Constructionの現状と今後の方針、普及・促進のための取組み等について学びました。



講師
岐阜県 県土整備部 技術検査課
技術課長補佐兼係長 小原 光博氏



“岐阜県における建設ICTの取組みについて”
建設ICT普及に向けた県の取組み（モデル工事における具体的な建設ICT活用事例等）と人材育成・確保対策について学びました。



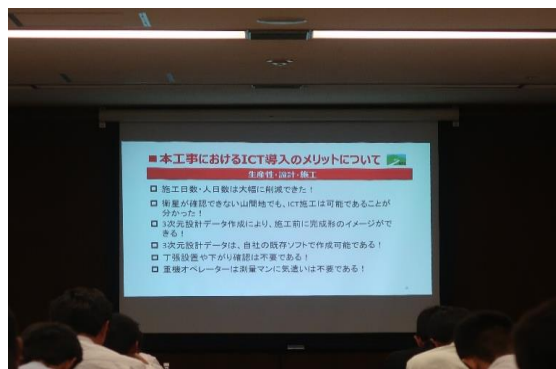
講師
株式会社 亀太
代表取締役社長 橋本 尚史氏



“はじめの建設ICT～現場はどう変えられるのか～”
生産性を向上させるため、起工測量成果や3次元設計データを現場で効果的に活用する方法について学びました。（デモンストレーション有）



講師
株式会社 中島工務店
第二土木部 課長 河原 克也氏



“砂防工事における建設ICTの活用事例”
モデル工事を受注して初めて分かるICT施工の特性を実際に施工した技術者の生の声から学びました。

9 受講者の感想

- ・ 砂防工事でのICTの活用を聞いて参考になった
- ・ 3D（三次元）のメリットがよくわかった
- ・ 中島工務店様の活用事例が今までの中で一番近く感じ参考になった
- ・ (株)亀太の講義は現場サイドからの視点で非常に興味深く聞くことができ参考になった
- ・ 建設ICTの実際の活用法について少し深く考えるヒントがあった
- ・ やったことのある業者にもっと突っこんで話が聞きたい
- ・ 国、県の方針が理解できた
- ・ 事例の発表はわかりやすい

以上